

安芸高田歴史紀行

東光寺城・茶臼ノ城

《美土里町横田》

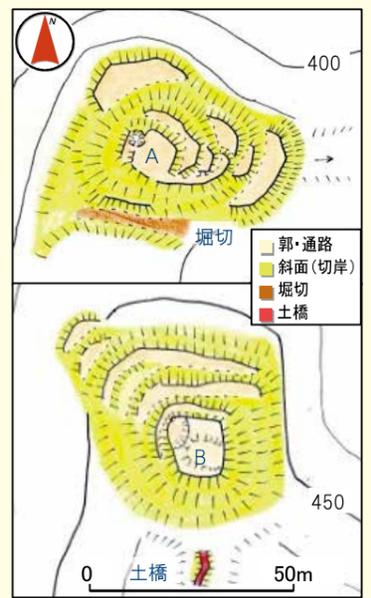
【登城ガイド】①東光寺城②茶臼ノ城
 標高/①420m ②460m
 比高/①120m ②160m
 史跡指定/未指定 城主/不明
 所要時間/ともに中国道脇から20分



東光寺城・茶臼ノ城遠望(北側より撮影)



周辺位置図



(上)東光寺城略測図
 (下)茶臼ノ城略測図(作図 秋本哲治)

立地：500m離れた両城は、横田の中心部から中国道を越えたさらに南側の山上にあります。両城からは約1.5km北にある松尾城がよく見えます。東光寺城は山麓にあった東光寺に由来しますが、江戸時代後期の絵図では既に廃寺となっており、茶臼ノ城は山麓に溜池がありますが、これは江戸後期から存在しています。大正期の『高田郡誌』に東光寺城の記載があります。これには、尼子氏が毛利氏を攻める時に一時ここに陣を置いたとあります。しかし、天文19(1540)年の郡山合戦時に尼子軍が横田にいた記録はなく、事実とは考えられません。茶臼ノ城に関しては、記録も地元伝承も一切不明です。横田地域は15世紀後半から16世紀初頭にかけて高橋氏の拠点であった松尾城があり、後に毛利氏の勢力下となりましたが、細かな歴史はわかっていません。

城跡：ともに北を向いた同規模の城跡です。郭AやBを中心に、小さな郭を数段築き、南側の背後を切り落として堀切状にした構造は似ています。小規模で防御施設としては単純な構造であるため、どちらも少数の軍勢が臨時的に利用した城であるといえます。

考察：横田で確実に文献に登場する合戦は、享禄3(1530)年、毛利元就と和智氏による松尾城攻めです(年代は秋山伸隆説)。今回の両城は明らかに松尾城を向いていることから、簀ヶ城(第35回)同様この合戦の際の毛利氏・和智氏方の陣城や見張りの城であったかもしれません。

シリーズ「お城拝見!」第五十一回

安芸高田市歴史民俗博物館
 学芸員 秋本哲治

今回は、これまで調査されていない未知の城跡を2ヶ所紹介します。市もその所在を認知していなかった城跡で、地元の方からの情報で初めて調査することができました。なお「茶臼ノ城」については、地元での呼称に依拠しました。未確認のお城情報はぜひお寄せください!

編集後記

「暑い夏、爽やかな風、熱い舞」
 神楽甲子園を五七五で表せばこのようなものでしょうか。全国のみなさんを集めた高校生たちのひたむきに全力で取り組む姿と、それを応援する会場の観客の皆さんとの一体感。何度もぐっとくるものがありました。

また、民泊の様子も取材させていただきました。民泊の皆さん、地域の皆さんの心ももった料理や、高校生たちの楽しそうなお話、食べんさい。私にまで「食べんさい。食べんさい。」と声をかけていただき、それだけで胸がわくわくする思いでした。後髪を引かれる思いで他の交流会場へ出発しました。

取材にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。(浮田)

神楽甲子園、暑い夏の二日間。暑さと緊張感に挑む高校生。この姿に応援の拍手を送る観客。これに応えようとする高校生。みんなで作上げた大会でした。(森本)

市内の皆様はもちろん、市外で安芸高田市を応援する皆様にも市の旬な情報を伝える「広報あきたかた」。ふるさとを少しでも近くに感じていただけたら、広報紙作りを頑張ってください、と思います。(田村)

今月の表紙
 成人式に出席した新成人の皆さん。今年は335名の方が成人を迎えられました。おめでとうござります。

(今月の主な内容)
 2~3 安芸高田市ふるさと応援の会 関東支部発足!
 22~23 第4回高校生の神楽甲子園 ひろしま安芸高田

祝 成人!



発行編集 安芸高田市 政策企画課 〒731-0592 広島県安芸高田市吉田町吉田791 Tel.(0826)42-5612 Fax.(0826)42-4376 http://www.akitakata.jp/